

核兵器条約発効1年

日本は参加を

各地で行動

核兵器禁止条約が発効して1周年を迎えた22日、被爆地広島、長崎をはじめ各地で「日本政府に禁止条約への参加を求めるスタンディングや原爆パネル展、証言会や集会などさまざまなイベントが行われました。

→関連❸、11コ一コーク集会❸



「拒む岸田首相 おかしい」

東京・有楽町駅前では、原水爆禁止日本協議会があり、トークを行ながら署名を呼びかけました。(写真4画)

安井正和事務局長らは、3月に開催される禁止条約の締約国会議に国民の85%が「参加すべきだ」と言っていることを紹介。岸田

文雄首相は広島出身をアピールしながら、被爆者の願いである核兵器廃絶に向けた禁止条約参加を拒んでいること語り、日本政府に禁止条約参加を求める署名への協力を呼びかけました。

署名した会社員の女性(31)は、「アメリカの顔色をうかがって条約に参加しないのはおかしい。原爆が投下された広島、長崎がある国として参加してほしい」と語りました。

「と語りました。

東京・板橋区の母(48)

と娘(12)の親子連れ。母

は「原爆を投下してひどい被害をもたらしたアメリカは今も核兵器を持っています。国連の専任理事国だからといって非難されないのはおかしい。国際法ができる核兵器、人殺し兵器は非難されるべきだとどうぞ」と

が知られるべきだと心地よいと語りました。

埼玉県川口市に住む女性(44)は、「日本は被爆国で、非核三原則を持っていますので当然条約に参加していると想っていました。全世界が条約に入るといいでですね」と語り署名に応じました。

世界が条約に入るといいでですね」と語り署名に応じました。